

## 横浜市福祉サービス第三者評価 評価結果総括表（保育分野）

|        |                                  |
|--------|----------------------------------|
| 事業所    | たまプラーザもみじ保育園                     |
| 報告書作成日 | 平成 28 年 2 月 9 日（評価に要した期間 約 4 か月） |
| 評価機関   | 公益社団法人 けいしん神奈川                   |

### 評価方法

|   |  |
|---|--|
| 自己評価<br>（実施期間：27 年 9 月 10 日<br>～27 年 10 月 25 日）       | 職員が領域ごとに自己評価票を作成し、その結果を職員全員で検討。話し合いの後、全体を集約した。             |
| 評価調査員による評価方法<br>（実施期間：27 年 12 月 2 日、28 年<br>1 月 15 日） | 評価調査員（3 名）が現地視察、書類確認、面接ヒヤリング調査（園長、主任、保育士）を行った。             |
| 利用者家族アンケート実施方法<br>（実施期間：27 年 9 月 10 日<br>～10 月 20 日）  | ①全利用者（園児）の保護者に事業者から手渡し。<br>②各保護者より、同封の返信用封筒にて評価機関宛てに匿名で返送。 |
| 利用者本人調査方法<br>（実施日：27 年 12 月 2 日、28 年<br>1 月 15 日）     | ①観察調査は、主に各クラスおよび園庭にて実施。<br>②聞き取り調査は、幼児を中心に、保育中に実施。         |

## 評価結果についての講評

### 施設の特徴

社会福祉法人 博愛福祉会 たまプラーザもみじ保育園は平成 13 年 5 月 1 日開所、今年 15 年目を迎えます。東急田園都市線たまプラーザ駅から徒歩 5 分、鉄筋コンクリート造り 3 階建て、建物面積 875.1 平方メートル、園庭の面積 415.76 平方メートルで、周辺は閑静な住宅地にあります。保育園の隣には國学院大学たまプラーザ校舎があります。

園庭も広く、公園など散歩ができる場所もあり、恵まれた環境にあります。定員は、0 歳児～5 歳児まで合計 120 人で、待機児童解消のため平成 27 年度現在 134 人の入所児童数となっております。

もみじ保育園グループは“いのちのリレーをサポートします”をモットーに、地域とともに歩み、心身の調和のとれた人間形成を目指し、養護と教育を通じ“生きる力”の基礎となる心情・意欲・態度を育てています。

乳児保育は保育士の担当児制を採用しており、幼児保育では発達過程に対応した保育の実施と多くの体験や多くの人との関わりができるように努めています。また、体操・スイミング・音楽・英語を取り入れ、外部講師による指導を行っています。

### 特に優れていると思われる点

#### 1. 全年齢を通して判断・行動ができる自発性を持った子どもを目指しています。

乳児クラスは生活リズムを整えること（寝る・食べる・排泄）と、戸外に積極的にでています。生活リズムを把握するために、園独自の連絡帳を作成し、家庭での生活リズムを記入してもらい園内での保育につなげています。

幼児クラスは自分でできることは自分でする、生活の知恵を教え、良いこと・頑張ったことは大いに褒め、悪いことはきちんと注意します。スキンシップを取って信頼関係を築きながら叱るときは短い言葉で端的におこない、突き放しの言葉は使わないようにしています。

見て、聞いて、理解し行動することをねらいにし、集中するときは集中させる事を取り入れています。体操・スイミング・音楽・英語などを取り入れ、英語は外国人講師を導入し、いろいろな人と関わる機会や関わり方を知る場、そして色々なことを経験する場として取り入れています。基本的な生活習慣の自立へ向けて、保護者との連携を密にしています。

#### 2. 人材の育成・援助技術の向上に努めています

仕事の基本となるマニュアルを作成し、最低限やらなくてはならないことを明確にしています。年に 1 回行われるグループ園全職員参加の合同研修会では、テーマを決め、より深く知識を得て、職員一人一人が専門的技術をもち保育を進められるようにしています。

1 年に一度の職務に関する申告書で、4 月からの半年間の自分の仕事を振り返り、自己評価をし、残りの半年間の目標を設定し、仕事に対して自分自身が何をしていくのかを明確にしています。

宿泊による職員研修を年 1 回実施しています。泊りがけで職員が一同に会し、寝起きを共にしながら語り合うことは、職員同士のチームワークがよくなり、日常の保育に活かされています。

### **3. 日々の保育に必要な情報を見える化し、職員全員が情報を共有し保育を進めています。**

一人一人の乳児のきめ細かい保育をするため、保育士の担当児制を採用しています。連絡帳には保育園と家庭での様子について24時間を見通した記載ができるよう図式化しています。保育の実践に当たっては掲示板(担当児ボード・離乳食や除去食等配慮ボード・ミルク量や睡眠記録ボード・クラス全員の平熱表など)を有効に使い、誰が見ても一見して分かるような仕組みにしています。担当児ボードでは担当保育士と乳児の対応が把握でき、降園した子どもや保育士の勤務シフトによる変化も、その都度更新できるようマグネットプレートを使うなど工夫しています。

### **4. 職場体験の中学生や保育士・看護師を目指す実習生を積極的に受け入れています。**

青葉区社会福祉協議会が実施している小中学生の夏休み体験や、中学生の職場体験を積極的に受け入れています。毎年要望のある約3校の中学校から10~12名(全体で約30名)の生徒を受け入れ、保育士と一緒に保育の体験をしてもらっています。中学生の職場体験を10年以上続けており、これをきっかけに保育士になった生徒もいます。

保育士や看護師を目指す約30名の実習生を毎年積極的に受け入れています。受け入れに当たっては、主任が窓口になり、受け入れ時の記録などを整備し、受け入れるクラスのすべてのクラスリーダーに伝えています。園児の午睡時には実習生と職員が体験の感想を話し合っています。毎年、実習生が当園の職員として採用されています。

## **特に工夫・改善が望まれる点**

### **1. 保護者が知りたい園の様子を出来るだけ伝えることが望めます。**

現在、園だよりは全クラス共通ものが月1回発行されていますが、保護者アンケートから、園の情報をもっと開示して欲しい、もっと普段の様子が知りたいとの意見があります。

クラスごとに、保育の目的や子どもの様子などを分かりやすく伝えるための工夫が必要です。例えばクラスだよりやクラスの掲示板などで普段の様子を伝えるなど工夫が必要です。

### **2. 保育に関連する事務的業務のIT化の検討と積極的な導入が望めます。**

保育士は日常的に指導計画(月・週・日)や業務日誌など多くの書類を作成しています。これらは園児の午睡の時間を利用するなど、限られた時間で多くの書類を手書きで作成しており、事務負担が重いものになっています。パソコンの積極的な活用により、事務負担の低減が必要です。今後IT化は避けて通れないと思います。そのためには、まず人材の育成が必要です。

## 横浜市福祉サービス第三者評価（保育分野）

### 評価領域Ⅰ 利用者（子ども本人）の尊重

| 評価分類・評価項目  | 評価結果 | 評価の理由（コメント）   |
|--|------|---|
| I-1 保育方針の共通理解と保育計画の作成  | A    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・園のパフレットに理念と方針を明記しています。誰でもいつでも見られるよう玄関や保育室に園の理念、方針を掲示しています。職員会議や入職行事などで理事長が直接説明しています。職員には「職務に関する申告書」で理念の確認をしています。</li> <li>・年度始めに全職員で保育課程を見直し、子どもの最善の利益を図るようにしています。見直し後の保育課程を基に、子どもの状況にあわせて立案できるよう工夫しています。「入園・進級の手引き」に記載し、保護者には入園時や進級時のクラス説明会で細かく説明しています。</li> <li>・保育日誌で日々反省と自己評価を行い、時には子どもの声に耳を傾け、次の指導計画に反映させています。</li> <li>・月間指導計画（月案）の「子どもの姿（心情・意欲・態度）」の欄を活かし立案を行っています。</li> </ul> |
| I-1-1(1) 保育の理念や基本方針が利用者本人を尊重したものになっており、全職員が基本方針を理解し、実践しているか。 | A    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・園のパフレットに理念と方針を明記しています。</li> <li>・誰でもいつでも見られるよう玄関や保育室に園の理念、方針を掲示しています。</li> <li>・職員には「職務に関する申告書」で理念の確認をしています。</li> <li>・職員会議や入職行事などで理事長が直接説明しています。</li> </ul>  |
| I-1-1(2) 保育課程は、保育の基本方針に基づき、保護者の実状などを考慮して作成されているか。            | A    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・年度始めに全職員で保育課程を見直し、子どもの最善の利益を図るようにしています。</li> <li>・見直し後の保育課程を基に、子どもの状況にあわせて立案できるよう工夫しています。</li> <li>・「入園・進級の手引き」に記載し、入園時や進級時のクラス説明会で細かく説明しています。</li> </ul>   |
| I-1-1(3) 日常の保育を通して子どもの意見や意思をくみ取る努力をし、指導計画に反映されているか。          | A    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育日誌で日々反省と自己評価を行ない、時には子どもの声に耳を傾け、次の指導計画に反映させています。</li> <li>・月間指導計画（月案）の「子どもの姿（心情・意欲・態度）」の欄を活かし立案を行っています。</li> </ul>   |

|                           |   |   |
|---------------------------|---|---|
| I-2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施 | A | <ul style="list-style-type: none"> <li>・入園希望者には見学時に園長が園の説明をし、その際に子どもを観察したり、保護者との面談を行っています。個人面談の記録を児童経過記録にファイルし、職員の共通認識を図っています。入園時に入園前の様子、健康調査票、母子手帳、健康診断書を提出してもらっています。</li> <li>・新年度の職員会議では前年度から申し送られた記録を基に、全職員が共通理解をするための時間を設けています。</li> <li>・新入園児受け入れ時には「慣らし保育予定表」を作成し保護者と相談しながら進めています。入園時の面談の際、持っていると安心するものを事前に聞き持ってきてよいことにしています。</li> <li>・4月は受け入れ時の担任が揃うよう、特別勤務体制で臨んでいます。連絡帳は家庭と保育園の24時間を見通せるよう作成しており、排泄・睡眠・食事など細かくチェックできるように担当児制での保育を行っています。</li> <li>・在園児には、進級する前の半月間は事前に新クラスの保育室に移動し不安感をなくすようにしています。</li> <li>・目標としている「年齢別子どもの姿」や「年齢別の基本的生活習慣」を確認しながら、指導計画を作成しています。指導計画の立案と反省・自己評価を担当が行い、主任・園長がアドバイスしていま</li> </ul> |
|---------------------------|---|---|

|                                    |   |   |
|------------------------------------|---|---|
|                                    |   | <p>す。保育中は常に指導計画書を確認し、職員の共通理解の基に保育を進めています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1週間の予定（週案）を保護者に配付し、次の週の予定をあらかじめ保護者に知らせています。担当児制を採っており、その日のエピソードを記入して迎え時に保護者が見られるようにしています。</li> </ul>   |
| I-2-(1) 入園前に子どもの発達状況や課題を把握しているか。   | A | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個人面談を実施しており、その記録を児童経過記録にファイルし、職員の共通認識を図っています。</li> <li>・ 入園時に入園前の様子、健康調査票、母子手帳、健康診断書を提出してもらっています。</li> <li>・ 入園希望者には見学时に園長が園の説明をし、その際に子どもを観察したり、保護者との面談も行っています。</li> <li>・ 新年度の職員会議では前年度から申し送られた記録を基に、全職員が共通理解をするための時間を設けています。</li> </ul>                                      |
| I-2-(2) 新入園児受け入れ時の配慮を十分しているか。      | A | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4月は受け入れ時の担当が揃うよう、特別勤務体制で臨んでいます。</li> <li>・ 個々に「慣らし保育予定表」を作成し保護者と相談しながら進めています。入園時の面談の際、持っている安心するものを事前に聞き持ってきてよいことにしています。</li> <li>・ 在園児には、進級する前の半月間は事前に新クラスの保育室に移動し不安感をなくすようにしています。</li> <li>・ 連絡帳は家庭と保育園の24時間を見通せるよう作成しており、排泄・睡眠・食事など、細かくチェックできるように担当児制での保育を行っています。</li> </ul> |
| I-2-(3) 子どもの発達や状況に応じて指導計画を作成しているか。 | A | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 目標としている「年齢別子ども姿」や「年齢別基本的生活習慣」を確認し、指導計画を作成しています。</li> <li>・ 指導計画の立案と反省・自己評価を担当が行い、主任・園長がアドバイスしています。</li> <li>・ 保育中は常に指導計画書を確認し、職員の共通理解の基に保育を進めています。</li> <li>・ 1週間の予定（週案）を保護者に配付し、次の週の予定をあらかじめ保護者に知らせています。</li> <li>・ 担当児制を採っており、その日のエピソードを記入して迎え時に保護者が見られるようにしています。</li> </ul> |

|                |   |  |
|----------------|---|--|
| I-3 快適な施設環境の確保 | A | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1日を通し掃除を行い記録しています。常に自然の風が通るよう心がけています。乳児クラスは使用した玩具を水洗いし干しています。砂場の砂を毎日掘り起こして日光消毒をし、保育終了時にはネコのフン対策としてネットをかけています。各保育室に温度計・湿度計を備えており、決められた時間の記録を保育日誌に記入しています。</li> <li>状況にあわせた声の出し方を保育士が見本となりながら教えています。</li> <li>・ 沐浴設備は毎日掃除を行い最終水が残らないようにしています。必要な時は随時シャワーを使用しています。夏季には濡れたタオルで身体を拭くなども保育に取り入れています。</li> <li>全年齢の子どもがいつでも個別に利用でき、沐浴やシャワーでも共有しないよう十分な量のタオルを用意しています。</li> <li>・ 0歳児・1歳児は時間により保育室を共有し機能別の空間を確保しています。0歳児は個々にベビーベッドを使用し心の安定を図っています。</li> <li>3・4・5歳児が合同で集団生活ができるよう遊戯室を確保しています。</li> </ul> |
|----------------|---|--|

|   |   |  |
|---|---|--|
| I-3-(1)子どもが快適に過ごせるような環境(清潔さ、採光、換気、照明等)への配慮がなされているか。 | A | <ul style="list-style-type: none"> <li>・状況にあわせた声の出し方を保育士が見本となりながら教えています。</li> <li>・各保育室に温度計・湿度計を備えており、決められた時間の記録を保育日誌に記入しています。</li> <li>・1日を通し掃除を行い記録しています。常に自然の風が通るよう心がけています。</li> <li>・乳児クラスは使用した玩具を水洗いし干しています。砂場の砂を毎日掘り起こして日光消毒をし、保育終了時にはネコのフン対策としてネットをかけています。</li> </ul> |
| I-3-(2)沐浴設備、温水シャワーなど体を清潔にできる設備があるか。                 | A | <ul style="list-style-type: none"> <li>・沐浴設備は毎日掃除を行い最終水が残らないようにしています。</li> <li>・必要な時は随時シャワーを使用しています。夏季には濡れタオルで身体を拭くなども保育に取り入れています。</li> <li>・全年齢の子どもがいつでも個別に利用でき、沐浴・シャワーでも共有しないよう十分な量のタオルを用意しています。</li> </ul>  |
| I-3-(3)子どもの発達に応じた環境が確保されているか。                       | A | <ul style="list-style-type: none"> <li>・0歳児・1歳児は時間により保育室を共有し機能別の空間を確保しています。</li> <li>・0歳児は個々にベビーベッドを使用し心の安定を図っています。</li> <li>・3・4・5歳児が合同で集団生活ができるよう遊戯室を確保しています。</li> </ul>   |

|  |   |   |
|--|---|---|
| I-4 一人ひとりの子どもに個別に対応する努力                              | A | <ul style="list-style-type: none"> <li>・担当児制を導入し一人一人の個性を大切にしながら個別指導計画を作成しています。保育を進める上で気になることがあれば積極的に保護者と面談したり、連絡を密にしたりしています。</li> <li>・クラスリーダーを設け、子どもの状況に応じて柔軟に保育対応できるよう、一定の役割と権限を持たせています。</li> <li>・児童票と児童台帳は職員室で一括保管し職員が誰でも見られるようにしています。児童票や児童台帳に変更があった場合には赤ペンで記入し、変更事項は掲示や口頭、回覧で誰でも分かるようにしています。</li> <li>・進級時には元の担任と新担任が申し送りをできる時間を設けています。個人面談用の決められた用紙があります。</li> </ul> |
| I-4-(1)子ども一人ひとりの状況に応じて保育目標を設定し、それに応じた個別指導計画を作成しているか。 | A | <ul style="list-style-type: none"> <li>・担当児制を導入し一人一人の個性を大切にしながら指導計画を作成しています。</li> <li>・保育を進める上で気になることがあれば積極的に保護者と面談したり、連絡を密にしたりしています。</li> <li>・クラスリーダーを設け、子どもの状況に応じて柔軟に保育対応できるよう、一定の役割と権限を持たせています。</li> </ul>  |
| I-4-(2) 子ども一人ひとりの発達の段階に応じた対応をし、その記録があるか。             | A | <ul style="list-style-type: none"> <li>・進級時には元の担任と新担任が申し送りをできる時間を設けています。</li> <li>・個人面談用の決められた用紙があります。</li> <li>・児童票と児童台帳は職員室で一括保管し職員が誰でも見られるようにしています。</li> <li>・児童票や児童台帳に変更があった場合には赤ペンで記入し、変更事項は掲示や口頭、回覧で誰でも分かるようにしています。</li> </ul>  |

|                           |   |   |
|---------------------------|---|---|
| I-5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み | A | <ul style="list-style-type: none"> <li>・配慮を要する子どもについては個別指導計画を作成しています。また職員会議で話し合い、全職員が共通の対応ができるようにしています。指導計画(月案)に配慮を要する子どものことについて記入する欄があり、担任以外の職員がクラスに入っても、そこを見ればどう保育を進めたらよいか分かるようにしています。</li> <li>・障害児保育のために専門機関との連絡や交流を日常的に積極的に</li> </ul> |
|---------------------------|---|---|

|  |          |   |
|--|----------|---|
|  |          | <p>行っています。保育期間・保育時間ともに長いという特徴があるため、その子どもの個性としてみていて子ども同士が分かり合っています。</p> <p>担任以外も共通理解ができるよう毎月の職員会議などで取り上げ、特徴の理解を進めています。1日の流れの絵カードなどで配慮を要する子どもにも理解できるよう工夫しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・援助が必要と思われる家庭の子どもについては登園後、全身の確認をしています。キズやケガ、その他気付いたことは日誌や児童票、写真などで記録しています。</li> </ul> <p>いつもと違う状況が発生した時は、担任→主任→園長から関係機関へ迅速な報告ができる体制になっています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者と「除去食依頼・変更・終了届書」により情報を共有しながら対応しています。毎月「除去対応児献立予定表」により保護者と献立のやりとりをしており、除去する食材を明確にしています。除去食対応時の献立をクラスに掲示しています。</li> </ul> <p>誤食防止として調理担当者と主任と担任が提供時に確認をしています。また会議でも話し合い共通の認識を持つようにしています。除去食は誰がみても明らかに違う形状のものを提供しています。除去食は医師による指示書がなくても保護者の意向に対応することもあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入園時の面談を丁寧に行っています。配付するプリント類だけでなく口頭でも説明しています。</li> </ul> <p>外国人にも園児が慣れるよう英語の授業を設定しており、その講師は外国人が行っています。</p> |
| <p>I-5-(1)特に配慮を要する子どもを受け入れ、保育する上で必要な情報が職員間で共有されているか。</p> | <p>A</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・配慮を要する子どもについては個別指計画を作成しています。また職員会議で話し合い、全職員が共通の対応ができるようにしています。</li> <li>・要配慮児研修の参加者は、研修報告を行い職員で知識を共有できるようにしています。議事録も作成し、会議に参加していない職員にも必ず伝達しています。</li> <li>・指導計画（月案）に配慮を要する子どものことについて記入する欄があり、担任以外の職員がクラスに入っても、そこを見ればどう保育を進めたらよいか分かるようにしています。</li> </ul>   |
| <p>I-5-(2)障害児保育のための環境整備、保育内容の配慮を行っているか。</p>              | <p>A</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門機関との連絡や交流を日常的に積極的に行っています。</li> <li>・保育期間・保育時間ともに長いという特徴があるため、その子どもの個性としてみていて子どもが同士分かり合っています。</li> <li>・担任以外も共通理解ができるよう毎月の職員会議等で取り上げ、特徴の理解をすすめています。</li> <li>・1日の流れの絵カードなどで配慮を要する子どもにも理解できるよう工夫しています。</li> </ul>   |
| <p>I-5-(3)虐待を疑われる子どもの早期発見と適切な対応を心がけているか。</p>             | <p>A</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・援助が必要と思われる家庭の子どもについては登園後、全身の確認をしています。</li> <li>・キズやケガ、その他気付いたことは日誌や児童票、写真などで記録しています。</li> </ul> <p>いつもと違う状況が発生した時は、担任→主任→園長から関係機関へ迅速な報告ができる体制になっています。</p>   |
| <p>I-5-(4)アレルギー疾患のある子どもへの適切な対応ができていますか。</p>              | <p>A</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者と「除去食依頼・変更・終了届書」により情報を共有しながら対応しています。毎月「除去対応児献立予定表」により保護者と献立のやりとりをしており、除去する食材を明確にしています。</li> <li>・除去食対応時の献立をクラスに掲示しています。</li> </ul> <p>誤食防止として調理担当者と主任と担任が提供時に確認をしています。また会議でも話し合い共通の認識を持つようにしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・除去食は誰がみても明らかに違う形状のものを提供し、座る席も他の子どもと離れたところに座るようにしています。</li> <li>・除去食は医師による指示書がなくても保護者の意向に対応することもあります。</li> </ul>  |

|  |   |  |
|--|---|--|
| I-5-(5)外国籍や帰国子女など、文化の異なる子どもに対して適切な配慮がされているか。 | A | <ul style="list-style-type: none"> <li>・入園時の面談を丁寧に行っています。</li> <li>・配付するプリント類だけでなく口頭でも説明しています。</li> <li>・外国人にも園児が慣れるよう英語の授業を設定しており、その講師は外国人が行っています。</li> </ul> |
|--|---|--|

|  |   |  |
|--|---|--|
| I-6 苦情解決体制                                 | A | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「なんでも相談」を設置し、個別相談を随時受付しています。ご意見用紙は無記名方式で記載し、投函できるようにしています。保護者懇談会を実施し、フリートークでなんでも言えるようにしています。行事後の意見や感想を記入できる「保護者の皆様からの感想・意見用紙」を配っています。必要であれば個別に面談も行っています。</li> <li>・二人の女性弁護士に苦情申し立ての窓口をお願いしています。現場の担当が受けた苦情は、主任→園長→理事長へ報告するシステムができあがっており、素早く解決するようマニュアル化しています。毎週グループ5園の園長連絡会を開催しており、要望や苦情についての即応体制ができています。</li> </ul> |
| I-6-(1)保護者がサービスについての要望や苦情を訴えやすい仕組みになっているか。 | A | <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者懇談会を実施し、フリートークでなんでも言えるようにしています。</li> <li>・ご意見用紙は無記名方式で記載し、投函できるようにしています。</li> <li>・行事後の意見や感想を記入できる「保護者の皆様からの感想・意見用紙」を配っています。必要であれば個別に面談も行っています。</li> <li>・二人の女性弁護士に苦情申し立ての窓口をお願いしています。</li> </ul>   |
| I-6-(2)要望や苦情を受けて、迅速に対応できる仕組みになっているか。       | A | <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎週グループ5園の園長連絡会を開催しており、要望や苦情についての即応体制ができています。</li> <li>・現場の担当が受けた苦情は、主任→園長→理事長へ報告するシステムができあがっており、素早く解決するようマニュアル化しています。</li> </ul>   |

## 評価領域Ⅱ サービスの実施内容

|           |   |  |
|-----------|---|--|
| II-1 保育内容 | A | <p><b>[遊び]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取り合いにならないよう、同じ種類の本を数冊用意しています。</li> <li>・コーナー別で好きな遊びができるようスペースを確保し、机とイスも用意しています。</li> <li>・1人の遊べる量を考慮して玩具を渡し、落ち着いて遊べるようにしています。</li> <li>・玩具の棚の扉に玩具の写真が貼ってあり、中の玩具が分かるようにしています。</li> <li>・ひらがなのワークや鬼ごっこやドッジボールなど、静と動、一斉と自由、を一日の中で取り入れています。</li> <li>・年齢によって手つなぎオニのルールを変えるなど、遊びにメリハリのあるルールを取り入れています。</li> <li>・同じ玩具でも子ども一人一人の発想により遊び方が違うので、それを尊重して保育士が見守っています。</li> <li>・園内に畑があり、一年を通して植え付けから収穫までの体験をさせています。</li> <li>・勤労感謝訪問を取り入れて、働いている姿を見たり、話を聞かせてもらっています。</li> <li>・公園では高齢者など地域の人と挨拶や触れ合いをしています。</li> <li>・日本の四季を体感させるため、花見やどんぐり拾いなど季節感を感じさせる散歩を取り入れています。</li> <li>・各クラスにすべてピアノが設置され、年齢や発達状況に合わせて歌やリズムの表現ができるようにしています。</li> <li>・2才児以上は自由画帳・クレヨン・粘土・ハサミ等、個人持ちの教材を与え、自由遊びの中でも使用できるようにしています。</li> </ul> |
|-----------|---|--|

|   |   |
|---|---|
|   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・散歩や絵本を見ている時に関連している歌を歌ったり、午睡明けに曲を流す工夫もしています。</li> <li>・午睡明けに幼児が乳児クラスに、やさしく起こす手伝いをしています。</li> <li>・5才児が自分で絵本を読んでいるとき、3才児が来るとゆっくり読み聞かせをしています。</li> <li>・けんかになったときは、子ども同士で解決できるように見守りを大切にしながら、仲直りできるかかわりをしています。</li> <li>・散歩や屋外清掃を積極的に行っています。</li> <li>・雨の日の散歩にも傘をさしたり、水たまりがあるという体験を大切にしています。</li> <li>・スイミングや幼児向け体操を取り入れ、年齢の発達段階に合わせた指導を行っています。</li> <li>・体力の向上を指導目標に掲げ、タイヤの上でのジャンプや鉄棒のぶらさがりなど体力が強化される遊びを誘導しています。</li> </ul> <p><b>[生活]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・担任の共食を重視し、スプーンや箸の使い方を見せたり、先生がおいしく食べる姿を子どもたちに素直に見せています。</li> <li>・給食当番を決め、交替で配膳することで、食事に対する意識が高まるようにしています。</li> <li>・とうもろこしの皮むきや枝豆とりなど食材にふれる調理のお手伝いをし、ご飯と汁物だけは自分で盛り付ける等、食育の意欲を育てています。</li> <li>・給食メニューを決める時、季節の旬のものを積極的に取り入れています。</li> <li>・安全安心をスローガンにオリジナルの食器を採用し、年齢や成長に合わせた食べ方を指導しています。</li> <li>・食を口に運ぶ運び方や、食器は落ちたら壊れる事などを体験し、生活や行動の基礎を養っています。</li> <li>・調理室が子ども達からよく見える環境で、調理担当者と子どもの関係が密にできています。</li> <li>・食事中に調理担当者がクラスを見てまわり、「おいしい？」などの声をかけながら交流を深めるとともに、食事の反応を調理に活かしています。</li> <li>・給食日誌の記録をつけており、それらを元に月1回の食育会議で献立・調理の工夫に役立たせています。</li> <li>・連絡帳に食事状況を記入し、保護者と園で互いに把握できるようにして、食の偏りをなくすようにしています。</li> <li>・玄関にその日の給食のサンプルを置いています。</li> <li>・「食育」の一貫として、園の行事を活用して試食会を行っています。</li> <li>・乳幼児突然死症候群防止対策として、呼吸確認をしています。</li> <li>・決められた時間に気温と湿度を確認し、安心して心地よい眠りにつけるよう工夫しています。</li> <li>・好きな絵本を読み、入眠しやすい環境を作っているほか、午後の時間に活動があった場合は、他の時間で休息をとります。</li> <li>・うまく排泄できた時は褒め、次の意欲につながるようにしています。</li> <li>・排泄の状況は連絡帳で保護者に伝えています。</li> <li>・トイレトレーニングは一人一人の進み具合が分かるように表にして対応しています。</li> <li>・トイレトレーニング中はおもらしをすることは当たり前ととらえ、叱ることなく対応しています。</li> <li>・おもらしにすぐ対応できるよう雑巾を沢山用意しています。</li> </ul> |
| <p><b>[遊び]</b><br/>II-1-(1)子どもが主体的に活動できる環境構成(おもちゃ・絵本、教材、落ち着いて遊べるスペースなど)ができているか。</p> | <p style="text-align: center;">A</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取り合いにならないよう、同じ種類の本を数冊用意しています。</li> <li>・コーナー別で好きな遊びができるようスペースを確保し、机とイスも用意しています。</li> <li>・1人の遊べる量を考慮して玩具を渡し、落ち着いて遊べるようにしています。</li> <li>・玩具の棚の扉に玩具の写真が貼ってあり、中の玩具が分かるようにしています。</li> </ul>  |

|  |          |   |
|--|----------|---|
| <p>Ⅱ－１－(2)遊びが一斉活動に偏らないよう配慮しているか。</p>                                     | <p>A</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ひらがなのワークや鬼ごっこやドッジボールなど、静と動、一斉と自由、を一日の中で取り入れています。</li> <li>・年齢によって手つなぎオニのルールを変えるなど、遊びにメリハリのあるルールを取り入れています。</li> <li>・同じ玩具でも子ども一人一人の発想により遊び方が違うので、それを尊重して保育士が見守っています。</li> </ul>                      |
| <p>Ⅱ－１－(3) 動植物の飼育や栽培・園外活動など、自然に触れたり地域や社会に関わる体験が取り入れられているか。</p>           | <p>A</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・園内に畑があり、一年を通して植え付けから収穫までの体験をさせています。</li> <li>・勤労感謝訪問を取り入れて、働いている姿を見たり、話を聞かせてもらっています。</li> <li>・公園では高齢者など地域の人と挨拶や触れ合いをしています。</li> <li>・日本の四季を体感させるため、花見やどんぐり拾いなど季節感を感じさせる散歩を取り入れています。</li> </ul>     |
| <p>Ⅱ－１－(4)子どもが歌やリズム、絵や文字、からだを動かすなどの体験を通して、自分の気持ちを自由に表現できるよう配慮されているか。</p> | <p>A</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・各クラスにすべてピアノが設置され、年齢や発達状況に合わせて歌やリズムの表現ができるようにしています。</li> <li>・2才児以上は自由画帳・クレヨン・粘土・ハサミ等、個人持ちの教材を与え、自由遊びの中でも使用できるようにしています。</li> <li>・散歩や絵本を見ている時に関連している歌を歌ったり、午睡明けに曲を流す工夫もしています。</li> </ul>             |
| <p>Ⅱ－１－(5)遊びを通して子ども同士の関係や保育士との関係が育つよう配慮しているか。</p>                        | <p>A</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・午睡明けに幼児が乳児クラスに、やさしく起こす手伝いをしています。</li> <li>・5才児が自分で絵本を読んでいるとき、3才児が来るとゆっくり読み聞かせをしています。</li> <li>・けんかになったときは、子ども同士で解決できるように見守りを大切にしながら、仲直りできるかかわりをしています。</li> </ul>                                    |
| <p>Ⅱ－１－(6)積極的な健康増進の工夫が遊びの中でなされているか。</p>                                  | <p>A</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・散歩や屋外清掃を積極的に行っています。</li> <li>・雨の日の散歩にも傘をさしたり、水たまりがあるという体験を大切にしています。</li> <li>・スイミングや幼児向け体操を取り入れ、年齢の発達段階に合わせた指導を行っています。</li> <li>・体力の向上を指導目標に掲げ、タイヤの上でのジャンプや鉄棒のぶらさがりなど体力が強化される遊びを誘導しています。</li> </ul> |
| <p>[生活]<br/>Ⅱ－１－(7)食事を豊かに楽しむ工夫をしているか。</p>                                | <p>A</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・担任の共食を重視し、スプーンや箸の使い方を見せたり、先生がおいしく食べる姿を子どもたちに素直に見せています。</li> <li>・給食当番を決め、交替で配膳することで、食事に対する意識が高まるようにしています。</li> <li>・とうもろこしの皮むきや枝豆とりなど食材にふれる調理のお手伝いをし、ご飯と汁物だけは自分で盛り付ける等、食育の意欲を育てています。</li> </ul>     |
| <p>Ⅱ－１－(8)食事の場、食材、食器等に配慮しているか。</p>                                       | <p>A</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・給食メニューを決める時、季節の旬のものを積極的に取り入れています。</li> <li>・安全安心をスローガンにオリジナルの食器を採用し、年齢や成長に合わせた食べ方を指導しています。</li> <li>・食を口に運ぶ運び方や、食器は落ちたら壊れる事などを体験し、生活や行動の基礎を養っています。</li> </ul>                                       |
| <p>Ⅱ－１－(9)子どもの喫食状況を把握して、献立の作成・調理の工夫に活かしているか。</p>                         | <p>A</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・調理室が子ども達からよく見える環境で、調理担当者と子どもの関係が密にできています。</li> <li>・食事中に調理担当者がクラスを見てまわり、「おいしい？」などの声をかけながら交流を深めるとともに、食事の反応を調理に活かしています。</li> <li>・給食日誌の記録をつけており、それらを元に月1回の食育会議で献立・調理の工夫に役立たせています。</li> </ul>          |
| <p>Ⅱ－１－(10)子どもの食生活について、家庭と連携しているか。</p>                                   | <p>A</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡帳に食事状況を記入し、保護者と園で互いに把握できるようにして、食の偏りをなくすようにしています。</li> <li>・玄関にその日の給食のサンプルを置いています。</li> <li>・「食育」の一貫として、園の行事を活用して試食会を行っています。</li> </ul>  |
| <p>Ⅱ－１－(11)午睡・休息は発達や日々の子どもの状況に応じて対応しているか。</p>                            | <p>A</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児突然死症候群防止対策として、呼吸確認をしています。</li> <li>・決められた時間に気温と湿度を確認し、安心して心地よい眠りにつけるよう工夫しています。</li> <li>・好きな絵本を読み、入眠しやすい環境を作っているほか、午後の時間で活動があった場合は、他の時間で休息をとります。</li> </ul>                                      |

|  |          |   |
|--|----------|---|
| <p>Ⅱ-1-(12)排泄は個人差があることを十分に配慮して対応しているか。</p> | <p>A</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・うまく排泄できた時は褒め、次の意欲につながるようにしています。</li> <li>・排泄の状況は連絡帳で保護者に伝えていきます。</li> <li>・トイレトレーニングは1人1人の進み具合が分かるように表にして対応しています。</li> <li>・トイレトレーニング中はおもらしをすることは当たり前ととらえ、叱ることなく対応しています。</li> <li>・おもらしにすぐ対応できるよう雑巾を沢山用意しています。</li> </ul> |
|--|----------|---|

|                           |          |   |
|---------------------------|----------|---|
| <p>Ⅱ-2 健康管理・衛生管理・安全管理</p> | <p>A</p> | <p><b>【健康管理】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康管理のマニュアルに従って、毎朝、問診や視診によって子どもの健康状態をチェックしています。子どもの健康管理に関しては連絡帳で保護者とやりとりをしているほか、登降園時に口頭でもやりとりをしています。</li> <li>全園児の平熱表を作り、平熱と違う場合は対応できるようにしています。</li> <li>・健康診断は、その子について不安に感じていることを保育士および保護者から事前に聞いて臨んでいます。5才児は歯科医の歯磨き指導を受けさせており、定期的に身体測定も行っています。4歳児は視聴覚検査を実施しています。健康診断の結果を受けて保育計画の見直しを行い、保護者にも伝えていきます。</li> <li>・感染症が発生した際には掲示板に貼り出し、保護者への告知を徹底しています。</li> <li>・発熱などの保育が継続できない状況の場合、保護者にお迎え依頼を行ったうえで個別に保育して待ち、保護者への引き渡しを行っています。</li> <li>・入園のしおりの中に許可証と依頼書を添付しており、対応マニュアルを徹底しています。</li> <li>・熱性けいれんや常時服用薬のある子は、誰が見ても分かるようにしています。</li> </ul> <p><b>【衛生管理】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・月例の職員会議の議題に「衛生管理」の項目を取り入れ、必ず話し合いや提案がなされています。マニュアルは誰でもいつでも見られるように職員室に備え付けてあります。嘔吐物処理セットは置き場所が明確に示されています。</li> </ul> <p><b>【安全管理】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・月1回避難消火訓練を実施しています。年1回総合防災訓練を行い、消防署の直接指導を受けています。</li> <li>災害時伝言ダイヤルの訓練を年1回保護者向けに行っているほか、園の電話は災害時優先電話の登録をしています。</li> <li>・主任以上に幼児用救急救命資格を取得するように推進しています。</li> <li>緊急時の保護者及び救急機関の連絡網を整備しているほか、事故発生時のマニュアルは目につくところに貼っています。</li> <li>首から上のケガについては必ず主任に報告し、保護者にも必ず伝えていきます。事故が起きた際には事故報告書を作成し、職員会議で必ず取り上げて対応策を周知徹底し、再発防止につなげていきます。</li> <li>・不審者を想定した防犯訓練を月1回定期的に行っているほか、門の施錠、防犯ブザーの整備、さすまたの設置などを行っています。</li> <li>地元青葉警察に見回りを依頼しているほか、近隣小学校とも連携して防犯に努めています。</li> <li>地元自治会に加入し、地域の住民組織とも連絡をとりあっています。</li> </ul> |
|---------------------------|----------|---|

|   |   |  |
|---|---|--|
| <p><b>【健康管理】</b><br/>II-2-(1)子どもの健康管理は、適切に実施されているか。</p>                   | A | <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎朝、健康管理のマニュアルに従って、問診や視診によって子どもの健康状態をチェックしています。</li> <li>・こどもの健康管理に関しては連絡帳で親とやりとりをしているほか、登降園時に口頭でもやりとりをしています。</li> <li>・全園児の平熱表を作り、平熱と違う場合は対応できるようにしています。</li> <li>・5才児は歯科医の歯磨き指導を受けさせており、定期的に身体測定も行っています。</li> <li>・熱性けいれんや常時服用薬のある子は、誰が見ても分かるようにしています。</li> </ul> |
| <p>II-2-(2)健康診断・歯科検診の結果を保育に反映させているか。</p>                                  | A | <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康診断は、その子について不安に感じていることを保育士及び保護者から事前に聞いて臨んでいます。</li> <li>・4歳児は視聴覚検査を実施しています。</li> <li>・健康診断の結果を受けて保育計画の見直しを行い、保護者にも伝えていきます。</li> </ul>   |
| <p>II-2-(3)感染症への対応に関するマニュアルがあり、保護者にも徹底しているか。</p>                          | A | <ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症が発生した際には掲示板に貼り出し、保護者への告知を徹底しています。</li> <li>・発熱などの保育が継続できない状況の場合、保護者にお迎え依頼を行ったうえで個別に保育して待ち、保護者への引き渡しを行っています。</li> <li>・入園のしおりの中に許可証と依頼書を添付しており、対応マニュアルを徹底しています。</li> </ul>   |
| <p><b>【衛生管理】</b><br/>II-2-(4)衛生管理が適切に行われているか。</p>                         | A | <ul style="list-style-type: none"> <li>・月例の職員会議の議題に「衛生管理」の項目を取り入れ、必ず話し合いや提案がなされています。</li> <li>・マニュアルは誰でもいつでも見られるように職員室に備え付けてあります。</li> <li>・嘔吐物処理セットは置き場所が明確に示されています。</li> </ul>   |
| <p><b>【安全管理】</b><br/>II-2-(5)安全管理に関するマニュアルがあり、事故や災害に備えた安全対策が実施されているか。</p> | A | <ul style="list-style-type: none"> <li>・月1回避難消火訓練を実施しています。</li> <li>・年1回総合防災訓練を行い、消防署の直接指導を受けています。</li> <li>・災害時伝言ダイヤルの訓練を年1回保護者向けに行っている他、園の電話は災害時優先電話の登録をしています。</li> <li>・主任以上に幼児用救急救命資格を取得するように推進しています。</li> </ul>   |
| <p>II-2-(6)事故や怪我の発生時及び事後の対応体制が確立しているか。</p>                                | A | <ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急時の保護者及び救急機関の連絡網を整備しているほか、事故発生時のマニュアルは目につくところに貼っています。</li> <li>・首から上のケガについては必ず主任に報告し、保護者にも必ず伝えていきます。</li> <li>・事故が起きた際には事故報告書を作成し、職員会議で必ず取り上げて対応策を周知徹底し、再発防止につなげています。</li> </ul>  |
| <p>II-2-(7)外部からの侵入に対する対応策が整備されているか。</p>                                   | A | <ul style="list-style-type: none"> <li>・不審者を想定した防犯訓練を月1回定期的に行っているほか、門の施錠、防犯ブザーの整備、さすまたの設置などを行っています。</li> <li>・地元青葉警察に見回りを依頼しているほか、近隣小学校とも連携して防犯に努めています。</li> <li>・地元自治会に加入し、地域の住民組織とも連絡をとりあっています。</li> </ul>   |

|                          |   |   |
|--------------------------|---|---|
| <p><b>II-3 人権の尊重</b></p> | A | <ul style="list-style-type: none"> <li>・よびすてや無視はしないなど、突き放された子どもが感じるような言動は厳禁としています。叱る時は短い言葉で端的に行っています。その一方で日頃からスキンシップを取ってフォローしています。やっではいけないことはきちんと注意し、頑張ったことは大いに褒めています。</li> <li>・個別の話が必要な時は、職員室の出入りを制限して、場所を確保しています。他の子どもと離れてクールダウンが必要な場合にも、和室や職員室の一角など常時設置しています。</li> <li>・個人情報取り扱い規定を整備しています。個人情報の記載されている書類は、職員室のロッカーに施錠して保管しています。書類の園外持ち出しは厳禁にしています。廃棄の際は、シュレッダー処理または溶解処理をしています。ビデオおよび写真撮影の際には、保護者の承認を得てから行っています。</li> <li>・名簿は男女混合で整理しています。登園バッグや名札などの持ち</li> </ul> |
|--------------------------|---|---|

|   |   |  |
|---|---|--|
|   |   | 物は全園児共通にしています。製作などでは個々に好きな色を選ばせており、ままごとの役は好きな役を選ばせています。  |
| Ⅱ-3-(1)保育中の子どもの呼び方や叱り方などで、子どもの人格尊重を意識しているか。   | A | <ul style="list-style-type: none"> <li>・叱る時は短い言葉で端的に行なっています。その一方で日頃からスキンシップを取ってフォローしています。</li> <li>・やっではいけない事はきちんと注意し、頑張った事は大いに褒めています。</li> <li>・よびすてや無視はしないなど、突き放された子どもが感じるような言動は厳禁としています。</li> </ul>   |
| Ⅱ-3-(2)必要に応じてプライバシーが守れる空間を確保できるような工夫がなされているか。 | A | <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別の話が必要な時は、職員室の出入りを制限して、場所を確保しています。</li> <li>・他の子どもと離れてクールダウンが必要な場合にも、和室や職員室の一角など常時設置しています。</li> </ul>   |
| Ⅱ-3-(3)個人情報の取り扱いや守秘義務について、職員等に周知しているか。        | A | <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報が掲載されている書類は、シュレッダー処理、又は溶解処理をしています。</li> <li>・個人情報が掲載されている書類の園外持ち出しは厳禁にしています。</li> <li>・ビデオ及び写真撮影の際には、保護者の承認を得てから行っています。</li> <li>・個人情報取り扱い規定が整備され、個人情報の記載されている書類は、職員室のロッカーに施錠して保管しています。</li> </ul> |
| Ⅱ-3-(4)性差への先入観による役割分業意識を植え付けないよう配慮しているか。      | A | <ul style="list-style-type: none"> <li>・登園バッグや名札などの持ち物は全児共通にしています。</li> <li>・名簿は男女混合で整理しています。</li> <li>・製作等では個々に好きな色を選ばせており、ままごとの役は好きな役を選ばせています。</li> </ul>  |

|                |   |  |
|----------------|---|--|
| Ⅱ-4 保護者との交流・連携 | A | <ul style="list-style-type: none"> <li>・入園説明会・新クラス説明会を実施し、保育の基本方針を分かりやすく載せたパンフレットや「入園・進級の手引」を配付しています。</li> <li>・園だよりで年間を四期に分けた保育目標を載せ、年間の保育方針の徹底を図っています。</li> <li>・行事後には感想を書いてもらい、保護者の要望に加え保育方針の理解度などを把握しています。</li> <li>・年間を通じ、保護者の要望があればいつでも個別面接を実施しています。</li> <li>・連絡帳できめ細かに情報交換を行っており、気になる事があれば口頭でも伝えていきます。</li> <li>・前期後期に分け年2回保護者懇談会を実施し、クラス全体の様子を伝えていきます。</li> <li>・面談は相談室や和室など個室とするよう配慮しています。</li> <li>・保護者からの相談に担任が適切なアドバイスができるよう主任と園長が助言し、サポート体制を徹底しています。</li> <li>・保護者からの相談記録は主任から園長へと報告され、主任を中心に担任へ継続的なフォローをしています。</li> <li>・毎月、定期的に園だよりを発行し、保育の進め方について理解してもらおう努力をしています。</li> <li>・幼児クラスは日々の活動記録を毎日掲示し、乳児クラスは連絡帳を使用しています。</li> <li>・行事や突発的な出来事があった時は、写真の「保育速報」を掲示し、保護者に告知しています。</li> <li>・保育参観は前期と後期の年2回実施し、それ以外でも希望があればいつでも参観は可能にしています。</li> <li>・新年度がスタートする前の3月に年間事業計画を保護者に配布し、行事の日程が分かるようにしています。</li> <li>・保育参観に出席できなかった保護者には、参観の概要をまとめた記録を掲示し、見てもらっています。</li> </ul> |
|----------------|---|--|

|  |   |  |
|--|---|--|
| Ⅱ－４－(1)保護者が保育の基本方針を理解できるよう努力しているか。         | A | <ul style="list-style-type: none"> <li>・入園説明会・新クラス説明会を実施し、保育の基本方針を分かりやすくのせたパンフレットや「入園・進級の手引」を配付しています。</li> <li>・園だよりで年間を四期に分けた保育目標をのせ、年間の保育方針の徹底を図っています。</li> <li>・行事後に感想用紙を書いてもらい、保護者の要望に加え保育方針の理解度などを把握しています。</li> </ul> |
| Ⅱ－４－(2)個々の保護者との日常的な情報交換に加え、個別面談等を行っているか。   | A | <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間を通じ、保護者の要望があればいつでも個別面接を実施しています。</li> <li>・連絡帳できめ細かに情報交換を行っており、気になる事があれば口頭でも伝えていきます。</li> <li>・前期後期に分け年２回保護者懇談会を実施し、クラス全体の様子を伝えていきます。</li> </ul>                                  |
| Ⅱ－４－(3)保護者の相談に応じているか。                      | A | <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談室や和室など個室で面談するよう配慮しています。</li> <li>・保護者からの相談に担任が適切なアドバイスができるよう主任と園長が助言し、サポート体制を徹底しています。</li> <li>・保護者からの相談記録は主任から園長へと報告され、主任を中心に担任へ継続的なフォローをしています。</li> </ul>                      |
| Ⅱ－４－(4)保育内容(行事を含む)など子どもの園生活に関する情報を提供しているか。 | A | <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月、定期的に園だよりを発行し、保育の進め方について理解してもらう努力をしています。</li> <li>・幼児クラスは日々の活動記録を毎日掲示し、乳児クラスは連絡帳を使用しています。</li> <li>・行事や突発的な出来事があった時は、写真の「保育速報」を掲示し、保護者に告知しています。</li> </ul>                       |
| Ⅱ－４－(5)保護者の保育参加を進めるための工夫をしているか。            | A | <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育参観は前期と後期の年２回実施し、それ以外でも希望があればいつでも参観は可能にしています。</li> <li>・新年度がスタートする前の３月に年間事業計画を保護者に配布し、行事の日程が分かるようにしています。</li> <li>・保育参観に出席できなかった保護者には、参観の概要をまとめた記録を掲示し、見てもらっています。</li> </ul>      |
| Ⅱ－４－(6)保護者の自主的な活動への援助や意見交換を行っているか。         | A | <ul style="list-style-type: none"> <li>・懇談会ではフリートークの場があり、保護者同士の交流を深める場を設けています。</li> <li>・作品展の時は「おしゃべりの場」を設け、居合わせた保護者同士で交流してもらっています。</li> <li>・年間を通して、弁護士による「何でも相談」を設置して法律問題にも対応しており、子育て相談以外でも徹底して対応するように努めています。</li> </ul> |

### 評価領域Ⅲ 地域支援機能

|   |   |  |
|---|---|--|
| Ⅲ－１ 地域の子育てニーズに応じた子育て支援サービスの提供                 | A | <ul style="list-style-type: none"> <li>・一時保育、交流保育、園庭開放などを積極的に受け入れています。</li> <li>・地域の子育て支援サービスに対する要望は電話対応をはじめ、全て整理され、毎月話し合いが行われています。</li> <li>・地域住民の要望に沿って積極的に地域の行事に参加し交流を深めています。</li> <li>・青葉区の公私立園長会の研修に積極的に参加しています。療育センターとの連携を図っています。</li> </ul> |
| Ⅲ－１－(1)地域の子育てニーズを把握するための取組をおこなっているか。          | A | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民の要望に沿って積極的に地域の行事に参加し交流を深めています。</li> <li>・区の公私立園長会の研修に積極的に参加しています。療育センターとの連携を図っています。</li> </ul>   |
| Ⅲ－１－(2) 地域の子育てニーズに応じて施設の専門性を活かしたサービスを提供しているか。 | A | <ul style="list-style-type: none"> <li>・一時保育、交流保育、園庭開放などを積極的に受け入れています。</li> <li>・地域の子育て支援サービスに対する要望は電話対応をはじめ、全て整理され、毎月話し合いが行われています。</li> <li>・子育て事業「もみじのおてて」をケアプラザの講座として開催しています。</li> </ul>  |

|  |          |  |
|--|----------|--|
| <b>Ⅲ-2 保育園の専門性を活かした相談機能</b>                        | <b>A</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・青葉区主催の地域文化祭には積極的に参加し、園児の作品展示や行事の写真展示などを行っています。</li> <li>・青葉区の福祉センターを始め関係機関はリスト化されて職員室に保管、全職員が共有しています。</li> <li>・主任を窓口、関係機関との調整担当は決められており、療育センターとの連携を図っています。</li> </ul> |
| <b>Ⅲ-2-(1)地域住民への情報提供や育児相談に応じているか。</b>              | <b>A</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・区主催の地域文化祭には積極的に参加し、園児の作品展示や行事の写真展示などを行っています。</li> </ul>  |
| <b>Ⅲ-2-(2)相談内容に応じて関係諸機関・団体との連携ができていく体制になっているか。</b> | <b>A</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・区の福祉センターを始め関係機関はリスト化されて職員室に保管、全職員が共有しています。</li> <li>・主任を窓口、関係機関との調整担当は決められており、療育センターとの連携を図っています。</li> </ul>  |

## 評価領域Ⅳ 開かれた運営

|   |          |  |
|---|----------|--|
| <b>Ⅳ-1 保育園の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ</b>                      | <b>A</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会に入会し、地域の一員としての交流を積極的に行っています。運動会等、行事には地域の人たちを招待しています。</li> <li>・勤労感謝訪問として、子どもが地域の公共施設を訪問しています。</li> <li>・地域の夏祭りや子育て交流の場「なしかちゃん広場」（青葉区主催）に参加し、地域の理解を深めています。</li> <li>・地域のこども施設「こどもの杜」を利用しています。</li> <li>・中学生の職場体験を積極的に受け入れています。毎年3校前後の要望のあった中学校から10～12名程度受け入れており、中にはこの職場体験をきっかけに保育士になった生徒もいます。</li> <li>・園児が園外散歩へ出る際には、積極的に地域の人に挨拶や言葉を交わすようにしています。</li> </ul> |
| <b>Ⅳ-1-(1)保育園に対する理解促進のための取り組みを行っているか。</b>               | <b>A</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会に入会し、地域の一員としての交流を積極的に行っています。運動会等、行事には地域の人たちを招待しています。</li> <li>・中学生の職場体験を積極的に受け入れています。毎年3校前後の要望のあった中学校から10～12名程度受け入れており、中にはこの職場体験をきっかけに保育士になった生徒もいます。</li> <li>・勤労感謝訪問として、地域の公共施設を訪問しています。</li> </ul>  |
| <b>Ⅳ-1-(2)子どもと地域との日常的な交流により、子どもの生活の充実と地域の理解を深めているか。</b> | <b>A</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のこども施設「こどもの杜」を利用しています。</li> <li>・園児が園外散歩へ出る際には、積極的に地域の人に挨拶や言葉を交わすようにしています。</li> <li>・地域の夏祭りや子育て交流の場「なしかちゃん広場」に参加し、地域の理解を深めています。</li> </ul>   |

|   |          |  |
|---|----------|--|
| <b>Ⅳ-2 サービス内容等に関する情報提供</b>                        | <b>A</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・横浜市ホームページに情報を載せているほか、地域情報誌（タウンニュース）を活用しています。青葉区社会福祉協議会が実施している小中学生の夏休み体験や、中学生の職場体験を受け入れています。</li> <li>・保育園探しをしている入園希望者を対象に、見学を含む保育園説明会を随時行っています。入園希望者に対する保育園説明会はきめ細かに説明し、質問も受けています。担当者（主任）が決まっております、見学は随時対応しています。電話での対応もしています。</li> </ul> |
| <b>Ⅳ-2-(1)将来の利用者が関心のある事項についてわかりやすく情報を提供しているか。</b> | <b>A</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・横浜市ホームページに情報を載せているほか、地域情報誌（タウンニュース）を活用しています。</li> <li>・区社協が実施している小中学生の夏休み体験や、中学生の職場体験を受け入れています。</li> <li>・保育園探しをしている入園希望者を対象に、見学を含む保育園説明会を随時行っています。</li> </ul>   |

|                                 |   |   |
|---------------------------------|---|---|
| IV-2-(2)利用希望者の問い合わせや見学に対応しているか。 | A | <ul style="list-style-type: none"> <li>・入園希望者に対する保育園説明会はきめ細かに説明し、質問も受けています。</li> <li>・担当者（主任）が決まっており、見学は随時対応しています。電話での対応もしています。③説明会は希望者が10人単位でまとまったところで随時行っています。</li> </ul> |
|---------------------------------|---|---|

|                                    |   |  |
|------------------------------------|---|--|
| IV-3 ボランティア・実習の受け入れ                | A | <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校との連携により、各校の職場体験を受け入れています。担当教師と十分な打ち合わせが行われています。受け入れは主任が行い、配属されたクラスのクラスリーダー保育士から報告されます。体験者の感想文は記録、整備されています。</li> <li>・保育士や看護師を目指す約30名の実習生を毎年積極的に受け入れています。主任から受け入れるクラスのすべてのクラスリーダーに趣旨が伝達され、記録されています。園児の午睡時に、実習生と職員が体験の感想を話し合っています。</li> </ul> |
| IV-3-(1)ボランティアの受け入れや育成を積極的に行っているか。 | A | <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校との連携により、各校の職場体験を受け入れている。担当教師と十分な打ち合わせが行われています。</li> <li>・受け入れは主任が行い、配属されたクラスのクラスリーダー保育士から報告されます。</li> <li>・体験者の感想文は記録、整備されています。</li> </ul>  |
| IV-3-(2)実習生の受け入れを適切に行っているか。        | A | <ul style="list-style-type: none"> <li>・主任から受け入れるクラスのすべてのクラスリーダーに趣旨が伝達され、記録されています。</li> <li>・園児の午睡時に、実習生と職員が体験の感想を話し合っています。</li> </ul>   |

## 評価領域V 人材育成・援助技術の向上

|   |   |  |
|---|---|--|
| V-1 職員の人材育成                                 | A | <ul style="list-style-type: none"> <li>・新採用者には採用年度前に内定者研修を行い、社会人として、保育士としての基本を教えています。</li> <li>・採用1年目研修では、1年をふり返り新たな心構えを教えています。</li> <li>・職務に関する申告書を年度の半期時に提出、自分の仕事をふり返り自己評価を行っています。</li> <li>・正規職員・非常勤職員の区別をせず、研修の機会を与えています。</li> <li>・研修受講者は職員会議で研修報告を行い、全職員が成果を共有するようにしています。</li> <li>・会議に出席できない職員には、議事録で伝達し、情報の共有を図っています。</li> <li>・これまで10年以上、法人主催5園合同の1泊研修を年1度行っています。参加できなかった職員には、クラスリーダーを通して研修の成果を伝えています。</li> </ul> |
| V-1-(1)保育園の理念や方針に適合した人材を育成するための取り組みを行っているか。 | A | <ul style="list-style-type: none"> <li>・新採用者には採用年度前に内定者研修を行い、社会人として保育士としての基本を教えています。採用1年目研修では新採用者を迎えるにあたり、一年をふり返り新たな心構えを教えています。</li> <li>・職務に関する申告書を年度の半期時に提出、自分の仕事をふり返り自己評価を行っています。</li> </ul>  |
| V-1-(2)職員・非常勤職員の研修体制が確立しているか。               | A | <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修受講者は職員会議で研修報告を行い、全職員が成果を共有するようにしています。</li> <li>・正規職員・非常勤職員の区別をせず、研修の機会を与えています。</li> <li>・法人主催5園合同の1泊研修を年一度行っています。参加できなかった職員には、クラスリーダーを通して研修の成果を伝えています。</li> </ul>  |
| V-1-(3)非常勤職員等にも日常の指導を行っているか。                | A | <ul style="list-style-type: none"> <li>・正規職員・非常勤職員の区別をせず、保育を行っています。</li> <li>・会議に出席できない職員には、議事録で伝達し、情報の共有を図っています。</li> </ul>   |

|  |          |  |
|--|----------|--|
| <p>V-2 職員の技術の向上</p>  | <p>A</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・経験年数や役割ごとに保育技術などの達成目標を定め、個々の職員の目標設定の目安にしています。採用1年の職員に対しては、1年目研修での振り返りを行い、2年目の目標を立てています。</li> <li>・年1回実施する「職務に関する申告書」は、各職員が半年を振り返り、残りの半年間の目標を立てています。</li> <li>・法人に統括の保育士がおり、巡回しながら評価指導を行っています。</li> <li>・職務に関する申告書での振り返りはすでにシステム化されており、それに基づいて園長が個別に指導面談を行っています。</li> <li>・月案、週案、個別指導計画を立て保育を実施し、保育日誌で反省・評価しています。</li> <li>・職務に関する申告書の提出を踏まえ、職員会議でテーマを設定し、課題の例を提出しながら改善案を話し合っています。主任は、理念や保育方針、保育課程に沿って総括します。</li> </ul> |
| <p>V-2-(1) 職員のスキルの段階にあわせて計画的に技術の向上に取り組んでいるか。</p>               | <p>A</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・採用1年職員に対しては、1年目研修での振り返りを行い、2年目の目標を立てています。</li> <li>・年1回実施する「職務に関する申告書」は、各職員が半年を振り返り、残りの半年間の目標を立てています。</li> <li>・法人に統括の保育士がおり、巡回しながら評価指導を行っています。</li> </ul>   |
| <p>V-2-(2) 保育士等が保育や業務の計画及び記録を通してみずからの実績を評価し、改善に努める仕組みがあるか。</p> | <p>A</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・職務に関する申告書での振り返りはすでにシステム化されており、それに基づいて園長が個別に指導面談を行っています。</li> <li>・月案、週案、個別指導計画を立て保育を実施し、保育日誌で反省・評価しています。</li> </ul>  |
| <p>V-2-(3) 保育士の自己評価を踏まえ、保育所としての自己評価をおこなっているか。</p>              | <p>A</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・職務に関する申告書の提出を踏まえ、職員会議でテーマを設定し、課題の例を提出しながら改善案を話し合っています。主任は、理念や保育方針、保育課程に沿って総括します。</li> </ul>  |

|  |          |  |
|--|----------|--|
| <p>V-3 職員のモチベーションの維持</p>                             | <p>A</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・チーム保育を目指しており、園長→主任→クラスリーダー、担任保育士の流れが一貫しており、その中で保育士の役割分担や責任者が明文化されています。職務に関する個人面談は随時行っています。</li> </ul>            |
| <p>V-3-(1) 本人の適性・経験・能力に応じた役割を与え、やりがいや満足度を高めているか。</p> | <p>A</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・チーム保育を目指しており、園長→主任→クラスリーダー、担任保育士の流れが一貫しており、その中で保育士の役割分担や責任者が明文化されています。</li> <li>・職務に関する個人面談は随時行っています。</li> </ul> |

## 評価領域VI 経営管理

|   |          |   |
|---|----------|---|
| <p>VI-1 経営における社会的責任</p>                         | <p>A</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・守るべき規範、倫理などは就業規則に明文化し、採用時に周知徹底しています。誰でも見られるように職員室に設置しています。</li> <li>・グループ内で発生した事例は全園が共有し、再発防止に役立っています。</li> <li>・ゴミの分別を行っており、こどもの製作などに使用するものは廃材などを利用する工夫をしています。</li> <li>・節水・節電に努力し、折り紙には包装紙を利用したりしています。</li> </ul> |
| <p>VI-1-(1) 事業者として守るべき、法・規範・倫理等を周知し実行しているか。</p> | <p>A</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・就業規則が明文化され、採用時に周知・徹底しているが、誰でも見られるように職員室に設置されています。</li> <li>・グループ内で発生した事例は全園が共有し、再発防止に役立っています。</li> </ul>  |

|  |   |  |
|--|---|--|
| VI-1-(2)サービスの質を維持しつつゴミ減量化・リサイクル・省エネルギーの促進、緑化の推進など環境に配慮しているか。 | A | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴミの分別を行っており、こどもの製作等に使用するものは廃材等を利用する工夫をしています。</li> <li>・節水・節電に努力し、折り紙には包装紙を利用したりしています。</li> </ul> |
|--|---|--|

|   |   |   |
|---|---|---|
| <b>VI-2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等</b>                    | A | <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園の理念や基本方針について「入園・進級の手引」に明文化されており、職務に関する申告書で再確認しています。</li> <li>・定例職員会議には統括保育士も出席し、理念や基本方針の確認をしています。</li> <li>・重要な問題は、理事長主導のもとにグループ園の園長が集る「園長連絡会議」で取り上げられ、議論されます。</li> <li>・保育園運営上の重要な変更事項については事前に変更案の提示を行っています。</li> <li>・主任が職員と密に情報交換を行い、何かあれば園長に報告して指導を受ける体制ができています。主任が個々の職員の能力や経験に照らして1日の配置状況や勤務表の作成を行っています。</li> </ul> |
| VI-2-(1)保育園の理念や基本方針等について職員に周知されているか。              | A | <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園の理念や基本方針について「入園・進級の手引」に明文化されており、職務に関する申告書で再確認しています。</li> <li>・定例職員会議には統括保育士も出席し、理念や基本方針の確認をしています。</li> </ul>   |
| VI-2-(2)重要な意思決定にあたり、関係職員・保護者等から情報・意見を集めたり説明しているか。 | A | <ul style="list-style-type: none"> <li>・重要な問題は、理事長主導のもとにグループ園の園長が集る「園長連絡会議」で取り上げられ、議論されます。</li> <li>・保育園運営上の重要な変更事項については事前に変更案の提示を行っています。</li> </ul>  |
| VI-2-(3)主任クラスの職員がスーパーバイザーとしての役割を果たしているか。          | A | <ul style="list-style-type: none"> <li>・主任が職員と密にして情報交換を行い、何かあれば園長に報告して指導を受ける体制ができています。</li> <li>・主任が個々の職員の能力や経験に照らして1日の配置状況や勤務表の作成を行っています。</li> </ul>   |

|  |   |   |
|--|---|---|
| <b>VI-3 効率的な運営</b>                               | A | <ul style="list-style-type: none"> <li>・園長連絡会議（グループ園5園）で話し合わせ、決定したことは主任を通じ伝達しています。必要なことは、文書で全職員に周知し、迅速に対応しています。</li> <li>・保護者のニーズや時代の特徴を踏まえ、園の理念・方針をどう組み合わせしていくか常に検討しています。</li> </ul> |
| VI-3-(1)外部環境の変化等に対応し、理念や基本方針を実現するための取り組みを行っているか。 | A | <ul style="list-style-type: none"> <li>・園長連絡会議（グループ園5園）で話し合わせ、決定したことを主任等にきちんと伝達されています。必要なことは、文書で全職員に周知し、迅速に対応しています。</li> </ul>  |
| VI-3-(2) 保育園運営に関して、中長期的な計画や目標を策定しているか。           | A | <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者のニーズにあった事・時代の特徴を踏まえ、園の理念・方針をどう組み合わせしていくか常に検討されています。</li> </ul>   |

## 保育観察／子ども本人聞き取りシート A

|      |             |     |                        |      |                   |
|------|-------------|-----|------------------------|------|-------------------|
| 保育所名 | まブラーザもみじ保育園 | 調査日 | 2015/12/2<br>2016/1/15 | 調査機関 | 公益社団法人<br>けいしん神奈川 |
|------|-------------|-----|------------------------|------|-------------------|

| クラス<br>(年齢) | 時間帯                   | 保育の様子・子どもの様子   |
|-------------|-----------------------|--|
| 0歳児<br>ひよこ組 | 1月15日<br>15:45<br>保育室 | 12ヶ月の月齢の子が自分の足で元気に立ち上がって嬉しそうにしています。円形や角形の「型はめマット」で多くの子どもが楽しそうに遊んでいます。円形の輪を手を持って振ってみたり、トンネルのようにくぐって遊んでいます。山型にしたマットの中をハイハイしながらくぐろうとしている子もいます。保育士は見守りながら援助の手を差しのべることもあります。お座りしている子や保育士に抱っこされ安心して休んでいる子もいます。 |
| 1歳児<br>りす組  | 1月15日<br>15:45<br>保育室 | 子どもたちは保育室の一角に集まり保育士と歌に合わせながら体や手足を活発に動かしています。手をあげたりブラブラさせたり、手拍子や足踏みをしたりして、みんなで一緒に楽しんでいます。保育士に抱っこされた子も複数いますが一緒に楽しんでいるようです。   |
| 2歳児<br>うさぎ組 | 1月15日<br>15:45<br>保育室 | 「お帰りの会」を保育士の前にならんで行なっています。みんなでお帰りの歌を合唱したあと人数確認のため点呼を取っています。名前を呼ばれた子は手をあげ元気な声で「はい！」と返事をしています。既に降園した子がいるためか「帰りました！」と伝える返事をしている仲間の子がいます。  |

| クラス<br>(年齢) | 保育の様子・子どもの様子          | 子ども本人からの聞き取り  |  |
|-------------|-----------------------|---|--|
| 3歳児<br>かえる組 | 12月2日<br>11:45<br>保育室 | 昼食はとろみうどんと鱈のもみじ焼きです。1つのテーブルに2人ずつ椅子に座って仲良く美味しく食べています。テーブルは学校の教室のように同じ向きに置かれ子どもたちは行儀よく食べています。スプーンを上手に使っています。お代わりをする子もいます。デザートのみかんを上手にむいてほお張っています。保育士も一緒にテーブルに着き子どもたちを見守り話をしながら食事をしています。 | うどん美味しいですかと聞くと「おいしい」と言って「両方(うどんともみじ焼き)ともおいしい」と答えてくれます。 |
| 4歳児<br>きりん組 | 1月15日<br>15:45<br>園庭  | 園庭でクラスの子どもたち全員で鬼ごっこ遊びをしています。二人の白い帽子被った鬼役が追いかけて遊んでいます。周りの子どもたちが楽しそうに鬼を追いかけて遊んでいます。砂場でオモチャのシャベルとバケツを持って砂遊びを楽しんでいる子が何人もいます。決められた時間に人数確認のため保育士が点呼を取っています。子どもたちは横一列に座って元気に返事をしています。        | 好きな遊びは、園庭の端にある坂登り、次に園庭での遊びと給食と答えています。                  |
| 5歳児<br>ぞう組  | 1月15日<br>15:45<br>園庭  | 園庭の土ぼこりが舞うので保育士が水を撒きましょう、と言うと子どもたちは水遊び用のジョウロに水道の水を入れ上手に撒き始めています。手製の紐のついた竹ボックリに乗り得意そうに歩いている子がいます。安全のため保育士が見守っています。数人であるいはグループで楽しそうに駆けっこをしている子どもたちがあちらこちらにいます。象型スベリ台に乗り周りを見渡している子もいます。  | 竹ボックリに乗った子に「上手だね」と言うと「乗れる？」と問いかけてきます。「無理かも」と返事をしています。  |

|    |  |
|----|--|
| 備考 | 外国人の講師による英語の授業(正課活動)が行なわれています。4歳児の子どもたちが講師を中心に椅子に座り、アルファベットの発声をしたり英語での質問にも答えようとする姿が見られます。子ども達は、元気に挨拶が出来ており、明るく、楽しそうに過ごしています。 |
|----|--|

## ■結果の特徴

たまプラーザちみじ保育園

アンケート回収率は65.7% (送付数:125、回答数:82)

保育園に対する満足度は「満足」、「どちらかといえば満足」を加えると98.8%となっており、満足度は高い。

園の保育目標・保育方針については、84%が「よく知っている」、「まあ知っている」と回答しています。知っている保護者の100%がその目標に賛同しています。

とくに満足度の高い項目:

日常保育の内容についての「遊び」では、「子どもが戸外遊びを十分しているかについて」、「生活」では、「お子さんが給食を楽しんでいるかについて」、「基本的な生活習慣の自立に向けての取り組みについて」や、職員への対応についての「あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについて」、など満足度が特に高い。

満足度が低い項目:

「年間の保育や行事に保護者の要望が活かされているかについて」、「外部からの不審者侵入を防ぐ対策について」、「送り迎えの際、お子さんの様子に関する情報交換について」、については満足度が低い。

## ■保育園の基本理念や基本方針について

| 問1                         | よく知っている | まあ知っている | どちらかといえばいい | あまり知らない | まったく知らない | 無回答 | 計      |
|----------------------------|---------|---------|------------|---------|----------|-----|--------|
| あなたは、この園の保育目標・保育方針をご存知ですか。 | 29      | 39      | 9          | 3       | 1        | 1   | 81     |
|                            | 35.8%   | 48.1%   | 11.1%      | 3.7%    | 1.2%     |     | 100.0% |

| (付問)                             | 賛同できる | まあ賛同できる | どちらかといえばいい | あまり賛同できない | まったく賛同できない | 無回答 | 計      |
|----------------------------------|-------|---------|------------|-----------|------------|-----|--------|
| あなたは、その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか。 | 49    | 19      |            |           |            | 14  | 68     |
|                                  | 72.1% | 27.9%   | 0.0%       | 0.0%      | 0.0%       |     | 100.0% |

## ■保育園のサービス内容について

問2 お子さんが入園する時の状況について

|                                       | 満足  | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満足 | 不満   | その他  | 無回答 | 計      |
|---------------------------------------|---|------------|-------------|------|------|-----|--------|
| 見学の受け入れ方については                         | 58  | 18         | 2           | 0    | 3    | 1   | 81     |
|                                       | 71.6%   | 22.2%      | 2.5%        | 0.0% | 3.7% |     | 100.0% |
| その他                                   | ・見学にいきませんでした(他1件)。 ・見学していない。<br>・師が通っていたので見学していない。          |            |             |      |      |     |        |
| 入園前の見学や説明など、園からの情報提供については             | 53  | 24         | 0           | 1    | 3    | 1   | 81     |
|                                       | 65.4%   | 29.6%      | 0.0%        | 1.2% | 3.7% |     | 100.0% |
| その他                                   | ・見学に行けませんでした。 ・入院中だったため説明うけていない。<br>・既に知っていたので特になし。         |            |             |      |      |     |        |
| 園の目標や方針についての説明については                   | 49  | 29         | 2           | 0    | 0    | 2   | 80     |
|                                       | 61.3%   | 36.3%      | 2.5%        | 0.0% | 0.0% |     | 100.0% |
| その他                                   |   |            |             |      |      |     |        |
| 入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応については     | 54  | 23         | 0           | 0    | 4    | 1   | 81     |
|                                       | 66.7%   | 28.4%      | 0.0%        | 0.0% | 4.9% |     | 100.0% |
| その他                                   | ・面接なし。(3歳児) ・面接がなくアンケート(文書)のみだった。(3歳児)<br>・特に面接なし。 ・特になかった。 |            |             |      |      |     |        |
| 保育園での1日の過ごし方についての説明には                 | 51  | 26         | 3           | 0    | 0    | 2   | 80     |
|                                       | 63.8%   | 32.5%      | 3.8%        | 0.0% | 0.0% |     | 100.0% |
| その他                                   |   |            |             |      |      |     |        |
| 費用やきまりに関する説明については(入園後に食い違いがなかったかを含めて) | 64  | 16         | 0           | 0    | 1    | 1   | 81     |
|                                       | 79.0%   | 19.8%      | 0.0%        | 0.0% | 1.2% |     | 100.0% |
| その他                                   | ・入園したのは3年前のため、費用について話があったかまでは覚えていません。                       |            |             |      |      |     |        |

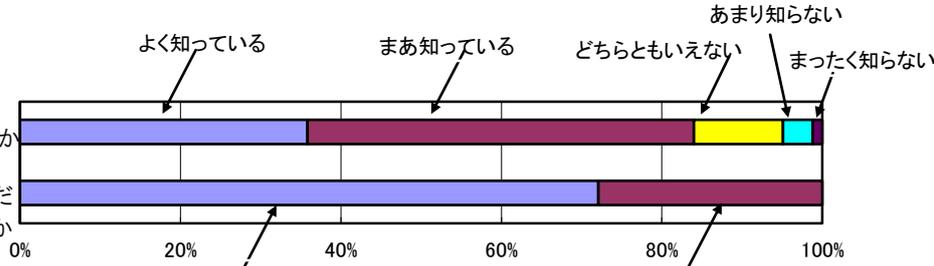
# 利用者アンケート集計結果（グラフ表示）

調査対象保育園：たまプラーザもみじ保育園

## ■ 保育園の基本理念や基本方針について

### 問1

あなたは、この園の保育目標・保育方針をご存知ですか  
あなたは、その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか



## ■ 保育園のサービス内容について

### 問2 お子さんが入園する時の状況について

見学の受け入れ方については

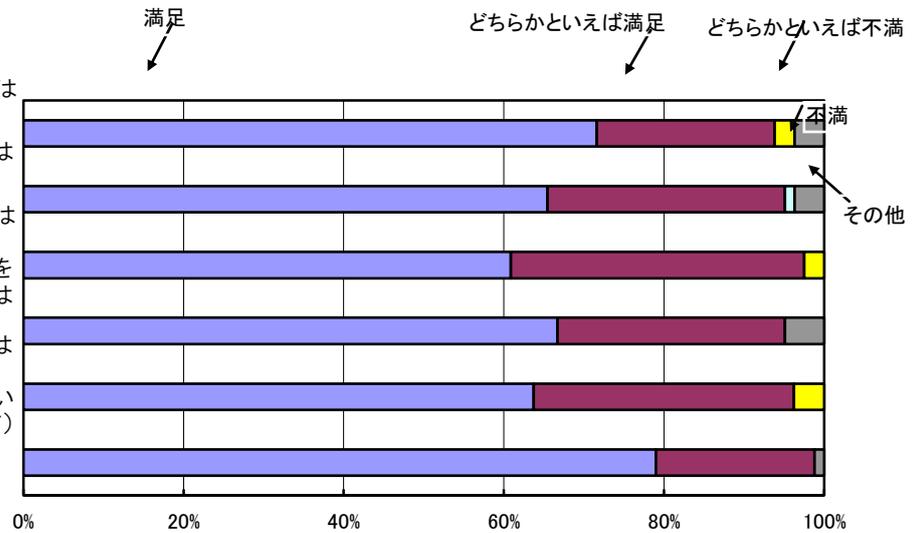
入園前の見学や説明など、園からの情報提供については

園の目標や方針についての説明には

入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを  
聞く対応については

保育園での1日の過ごし方についての説明には

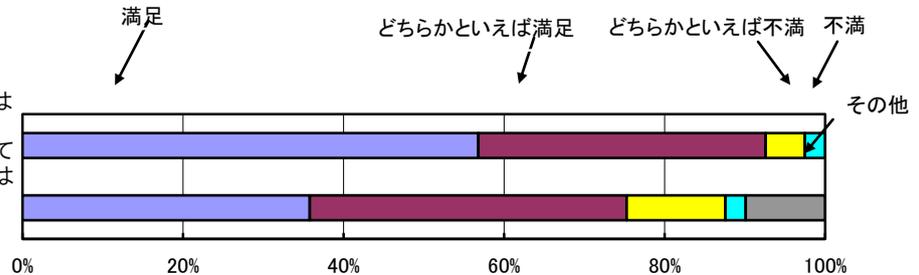
費用やきまりに関する説明については(入園後に食い違い  
がなかったかを含めて)



### 問3 保育や行事の年間計画について

年間の保育や行事についての説明には

年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされて  
いるかについては



### 問4 日常の保育内容について

#### 「遊び」について

クラスの活動や遊びについては  
(お子さんが満足しているかなど)

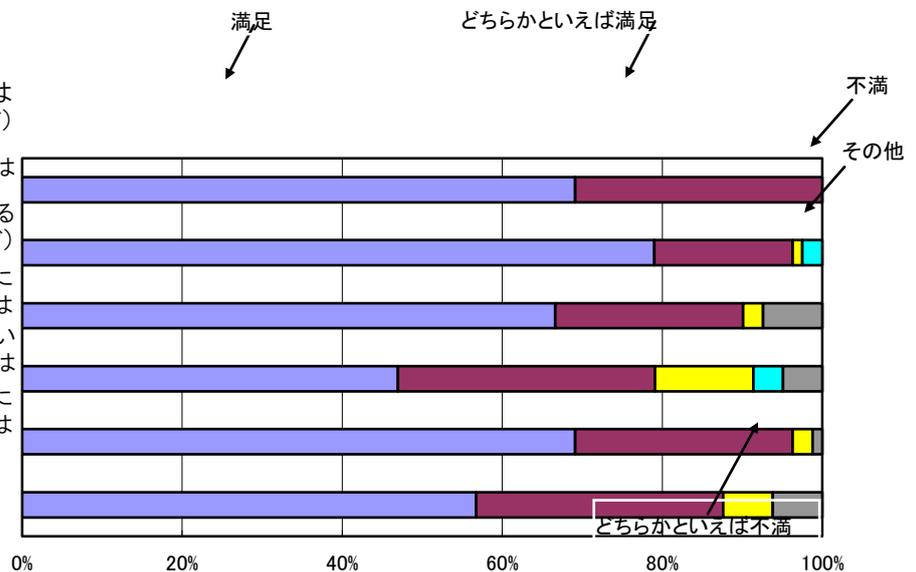
子どもが戸外遊びを十分しているかについては

園のおもちゃや教材については(お子さんが自由に使える  
ように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど)

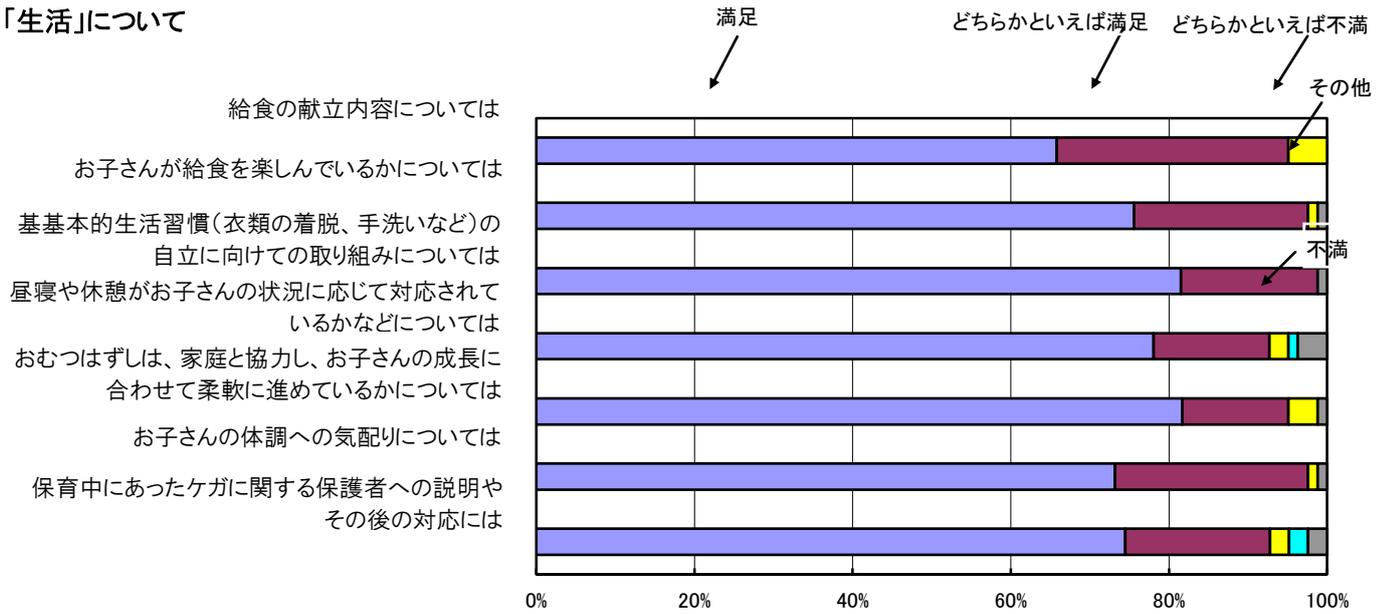
自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動に  
ついては

遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もてい  
るかについては

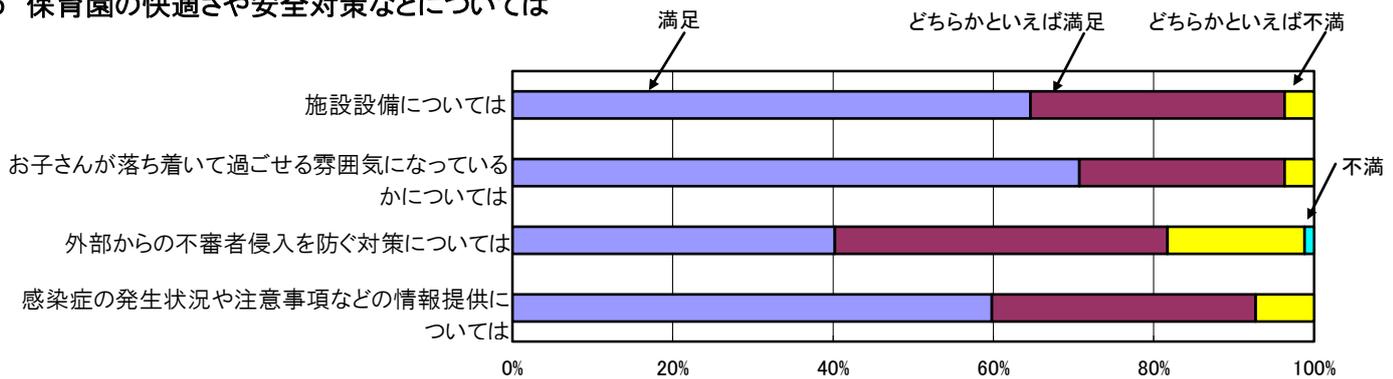
遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みに  
ついては



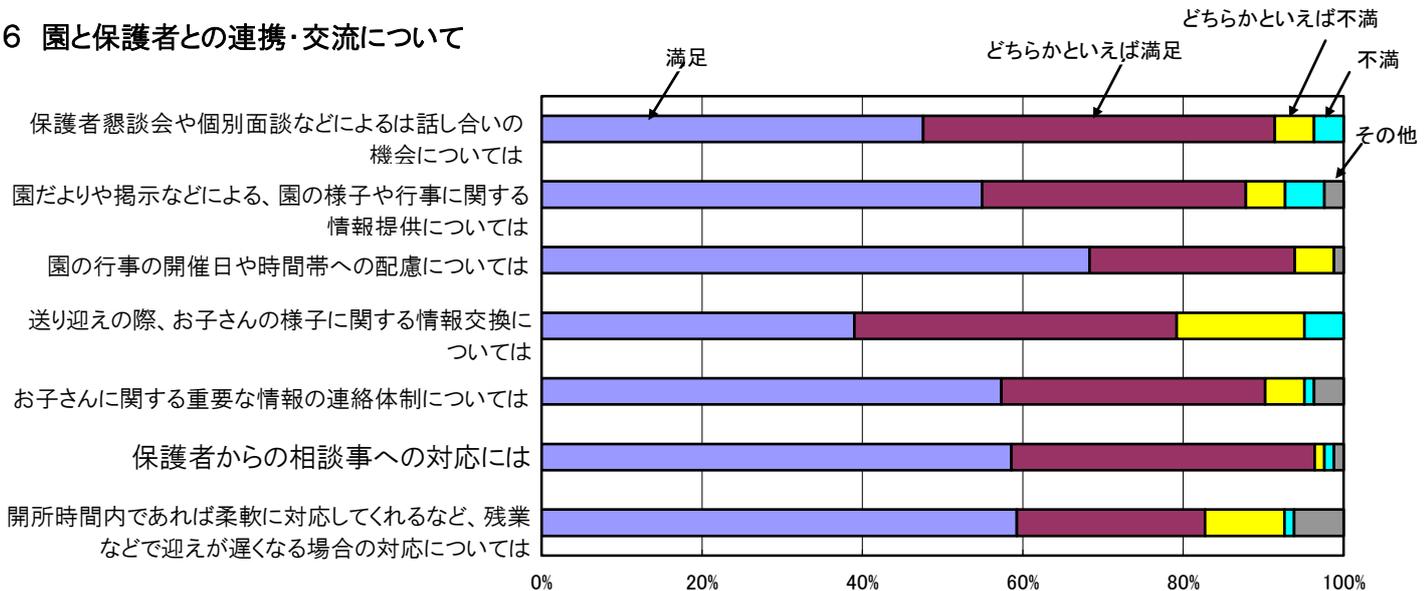
## 「生活」について



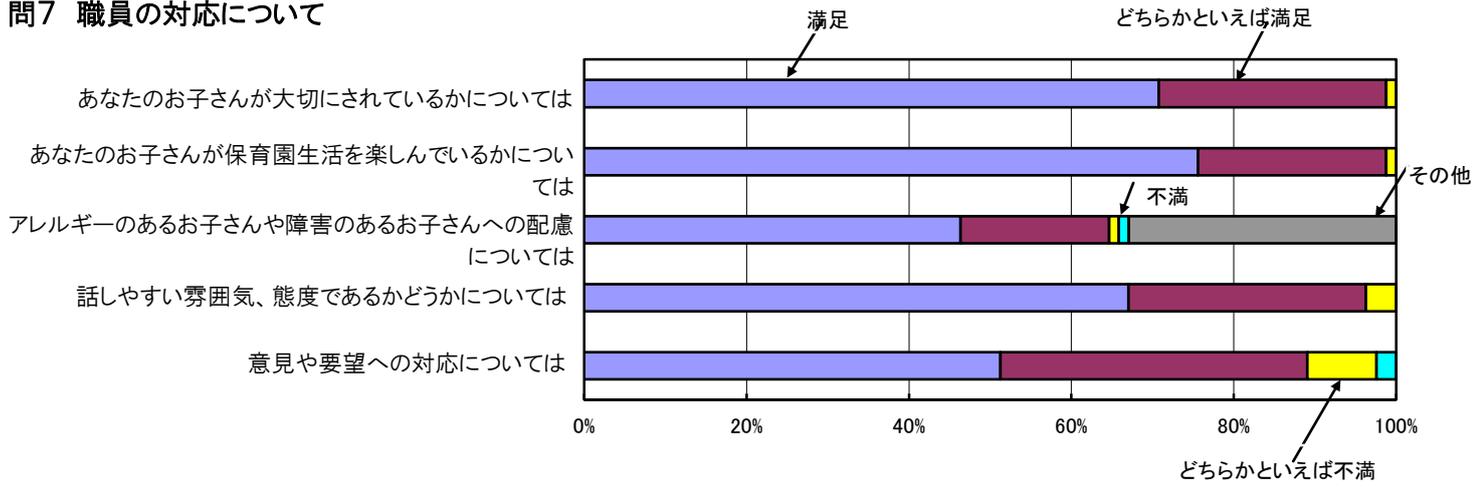
## 問5 保育園の快適さや安全対策などについては



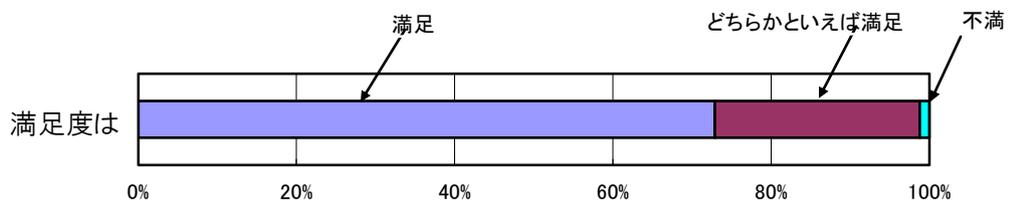
## 問6 園と保護者との連携・交流について



問7 職員の対応について



問8 保育園を総合的に評価すると、どの程度満足していますか



もみじ保育園グループとして  
“いのちのリレーをサポートしています”

あいさつできる子 元気な子!! (規律)  
なんでも食べる子 じょうぶな子!! (食育)  
みんなとなかよし やさしい子!! (人間関係)

たまプラーザもみじ保育園の評価結果の“まとめ”

アンケート結果より  
保護者の総合的な満足度が高い (98.7%)

- 園の基本理念や基本方針についてよく理解されています。
- 保育内容（生活）について満足度が非常に高い。
- 園と保護者との連携・交流についての満足度が低い。

- ・園の方針を職員がよく理解しています。
- ・人材の育成・援助技術の向上に努めています。
- ・職場体験の中学生や保育士、看護師を目指す実習生を積極的に受け入れています。
- ・年1回「職務に関する申告書」を作成し、自己評価を行っています。

- ・年齢に応じた判断・行動ができる自発性を持った子どもを目指しています。
- ・子ども第一に考える、子どもの目線で保育しています。
- ・職員との信頼感が見られます。
- ・経験豊かな保育士さんが相談相手になっています。
- ・日々の保育に必要な情報を見える化し、職員全員が情報を共有し保育を進めています。
- ・安心して子どもを預けられる、園への信頼感が高い。

第三者評価を受診して

平成28年度2月4日

たまプラーザもみじ保育園

園長 福田 博幸

待機児の解消ばかりがマスコミを賑わし、施設に子供を預ければ子供がしっかり育つかの様な錯覚さえ覚える風潮が広がっています。この風潮によって親の子育て放棄傾向に拍車がかかる事を心配しています。ところで、公認の保育園は子供の養護と教育を実施する立派な教育機関です。

当然、学校に建学の精神がある様に、社会福祉法人にも経営の理念があります。この理念に基づいて保育園の園児達がこれからの一生を生きて行く為の土台づくりをするのが保育所の重要な役割です。

法人の理念が果して保護者に理解してもらえているのだろうか——

私達経営者にとっては常に気になるテーマです。

又、長い年月の積み重ねによって培われ、経験に基づいて練られた毎日の保育をしているものの、果して子供達にとって最善のものであるだろうか——日々悩みながらも多忙な毎日に追われているのが保育の現場です。

この様な状況の中で、外部機関からの冷静な目で保育園の運営全般をチェックしてもらい診断する事は極めて有意義な事と認識しています。

今回の保護者に対するアンケートでは経営理念がよく理解してもらえてい

る事が確認できました。

又、日々の保育内容について満足度が高い結果となり、幹部職員達の自信にもつながりました。

私達が日々行っている ①保育 ②こどもや保護者とのかかわり方 ③人材の育成 ④保育の質の向上等、自分達の保育を1つ1つ改めて振り返る良いチャンスであり、そのチャンスを生かして多くの“気づき”がありました。

第三者評価の機会を得て学んだ事、感じた事を尊重しながら更なる向上を図って行きたいと思います。